

オーストラリアインカムオープン

追加型投信／海外／債券

作成対象期間：2022年9月16日～2023年3月15日

第 77 期 決算日：2022年12月15日

第 78 期 決算日：2023年3月15日

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。

当ファンドは豪ドル建て公社債を高位に組み入れた運用を行います。ここに運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドが受益者のみなさまの資産形成に資するよう、運用に努めてまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

第78期末 (2023年3月15日)

基準価額 8,230円

純資産総額 6,520百万円

第77期～第78期

騰落率 - 4.9%


分配金合計(*) 60円

(注) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率で表示しています。

(*) 当期間の合計分配金額です。

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書（全体版）に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めており、以下の方法でご覧いただけます。運用報告書（全体版）は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

閲覧・ダウンロード方法

<https://www.am.mufg.jp/>[ファンド検索] に
ファンド名を入力各ファンドの詳細ページで
閲覧およびダウンロード **MUFG** 三菱UFJ国際投信東京都千代田区有楽町一丁目12番1号
ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

■当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル  **0120-151034**

(受付時間：営業日の9:00～17:00、土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く)

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

運用経過

第77期～第78期：2022年9月16日～2023年3月15日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第77期首	8,712円
第78期末	8,230円
既払分配金	60円
騰落率	-4.9%
	(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ4.9%（分配金再投資ベース）の下落となりました。

ベンチマークとの差異

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（-4.5%）を0.4%下回りました。

基準価額の主な変動要因**上昇要因**

豪州債券市況が上昇したこと等は基準価額にプラスに寄与しました。

下落要因

豪ドルが対円で下落したこと等は基準価額にマイナスに作用しました。
信託報酬等は基準価額にマイナスに影響しました。

※ベンチマーク（ファンドの運用を行うにあたって運用成果の目標基準とする指標）は、ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックス（円換算ベース）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

※ベンチマークは、当作成期首の値をファンドの基準価額と同一になるように指数化しています。

2022年9月16日～2023年3月15日

1万口当たりの費用明細

項目	第77期～第78期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	50	0.600	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
(投 信 会 社)	(25)	(0.300)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
(販 売 会 社)	(23)	(0.273)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.027)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.002	(b) 売買委託手数料 = 作成期中の売買委託手数料 ÷ 作成期中の平均受益権口数 有価証券等の売買時に取引した証券会社等に支払われる手数料
(先物・オプション)	(0)	(0.002)	
(c) その他費用	1	0.018	(c) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(1)	(0.016)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
合 計	51	0.620	

作成期中の平均基準価額は、8,305円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

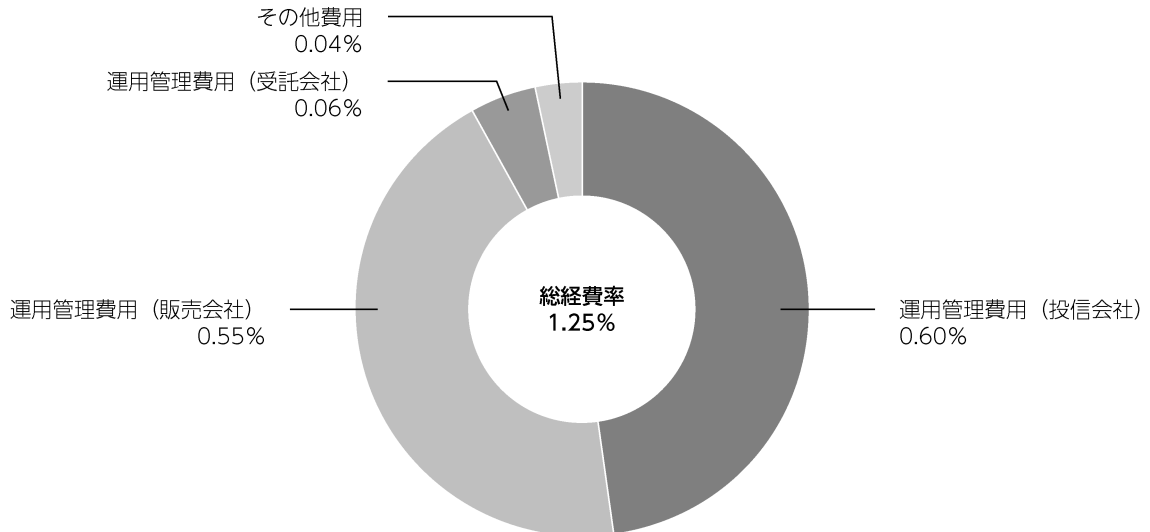
(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成中の平均受益権口数に作成中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.25%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

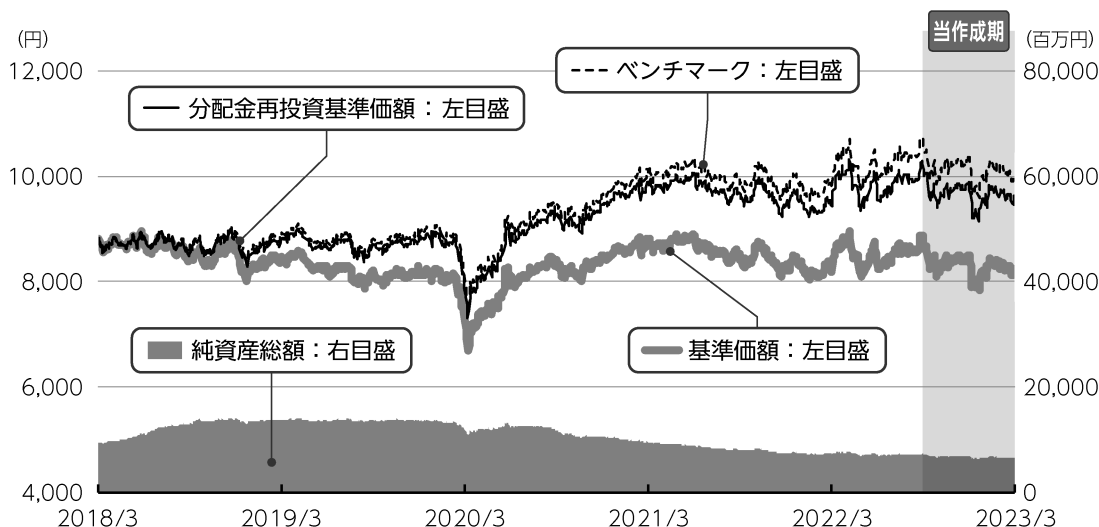
(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

2018年3月15日～2023年3月15日

最近5年間の基準価額等の推移について



※分配金再投資基準価額、ベンチマークは、2018年3月15日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。
 ※海外の指数は基準価額の反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

最近5年間の年間騰落率

	2018/3/15 期初	2019/3/15 決算日	2020/3/16 決算日	2021/3/15 決算日	2022/3/15 決算日	2023/3/15 決算日
基準価額 (円)	8,829	8,434	7,084	8,761	8,207	8,230
期間分配金合計 (税込み) (円)	—	400	340	260	180	120
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	0.1	-12.3	27.6	-4.3	1.7
ベンチマーク騰落率 (%)	—	1.1	-11.4	28.1	-3.4	3.0
純資産総額 (百万円)	9,424	13,717	11,516	9,499	7,221	6,520

※ファンド年間騰落率は、ベンチマーク年間騰落率と比較するため、収益分配金（税込み）を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

ベンチマークは、ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックス（円換算ベース）です。詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

第77期～第78期：2022年9月16日～2023年3月15日

投資環境について

▶ 債券市況

豪州債券市況は上昇しました。

期間を通じてみると、根強いインフレなどに対する懸念から、オーストラリアの長期金利が上昇する場面があったものの、米国の金融機関の破綻などを受けて市場参加者のリスク回避姿勢が強まったことを受けて、オーストラリアの長期金利が低下したことなどが影響し、豪州債券市況は上昇しました。

▶ 為替市況

豪ドルは対円で下落しました。

2022年12月に日銀のイールドカーブコントロールにおける長期金利の変動許容

幅の拡大等を背景に、円が主要国通貨に対して上昇する中、豪ドルが対円で下落しました。2023年に入り、豪州最大の貿易相手国である中国で「ゼロコロナ」政策が事実上解除され、同国からの資源需要の回復期待が豪ドルの支援材料となったほか、鉄鉱石価格の回復基調もプラス要因となり、豪ドルが底堅く推移する局面も見られました。しかし期間の終盤に一部の米国金融機関の経営破綻を受けて市場参加者のリスク回避姿勢が強まったこと等から、円高が進行し、豪ドルは対円で再び下落基調となりました。当期間を通じて見ると豪ドルは対円で下落しました。

当該投資信託のポートフォリオについて

組入比率

期間を通じて現物債券を高位に組み入れました。また、機動的なデュレーション（平均回収期間や金利感応度）調整等の為に債券先物も一部組み入れました。

種別構成

債券種別配分については、期間を通じて、ベンチマークに対し、国債をアンダーウエイト

とする一方、相対的な利回りの高さを享受するため、社債（事業債など）をオーバーウエイトとしました。

デュレーション

デュレーションについては、期間の初めからベンチマーク対比で長めの水準とし、当期間末までベンチマークに対して長めの水準を維持しました。

第77期～第78期：2022/9/16～2023/3/15

当該投資信託のベンチマークとの差異について

ファンドの騰落率は、ベンチマークの騰落率（-4.5%）を0.4%下回りました。

プラス要因

種別要因

当期間においては、社債をオーバーウエイトとしたことが、ベンチマーク比でのパフォーマンスにプラスに寄与しました。

マイナス要因

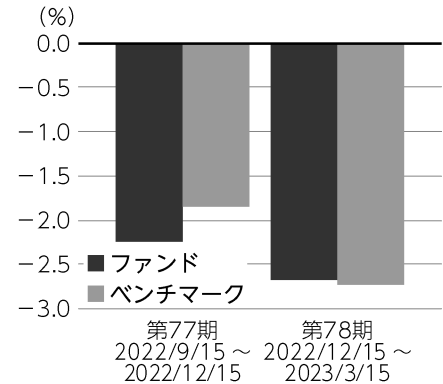
デュレーション戦略

デュレーション戦略は、期間の初めからデュレーションをベンチマーク対比で長めとしており、豪州金利が上昇した場面で、ベンチマーク比でのパフォーマンスにマイナスに作用しました。

信託報酬等

信託報酬等のコストは、ベンチマーク比でのパフォーマンスにマイナスに作用しました。

基準価額とベンチマークの対比（騰落率）



※ファンドの騰落率は分配金込みで計算しています。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第77期	第78期
	2022年9月16日～2022年12月15日	2022年12月16日～2023年3月15日
当期分配金（対基準価額比率）	30 (0.352%)	30 (0.363%)
当期の収益	30	30
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	2,051	2,055

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 (作成対象期間末での見解です。)

2023年は債券市場にとり良好な年になると予想しています。デュレーション戦略においては、最近の利回りの上昇局面を投資の好機と捉え、ベンチマーク対比で長めのポジションをとっています。世界の金融引き締めサイクルは最終局面を迎えつつあると思われ、多くの中央銀行が今年前半に利上げを停止する可能性が高いと考えています。政策金利のピークの予想レンジ幅が狭まり、金利の変動幅が縮小することを示していることから、こうした状況は債券にとってより良好な市場環境となることが見込まれます。一方、市場のコンセンサス予想を上回ってディスインフレーションが強まる可能性もあるため、とりわけ労働市場が緩和した場合、早ければ年末に金融引き締めの巻き戻しが生じることも予想されます。

豪州では、依然としてインフレが遅れて現れています。世界の経済指標を常時注視している中で、引き続きディスインフレーション傾向が見られるものの、最近発表された米国の

経済指標においては、インフレ抑制の取り組みが一筋縄ではいかないことを示していると思われます。経済成長に関しては、豪州準備銀行（RBA）による利上げの影響がタイムラグを伴って豪州の消費に大きなマイナスの影響をもたらし、金利感応度の高い家計部門の一部では、景気後退の様相を呈する可能性もあるという見方をしています。

金利

当ファンドでは現在、デュレーションをベンチマークに対し長めの水準としています。今後も金利水準や市場心理などを考慮しながら、必要に応じて機動的なデュレーション調整を行います。

種別構成

種別配分に関しては、社債など非国債セクターの組み入れを高めにして運用します。新規発行銘柄については、割安と判断される場合には積極的に組み入れを検討します。

お知らせ

▶ 約款変更

- ・該当事項はありません。

▶ その他

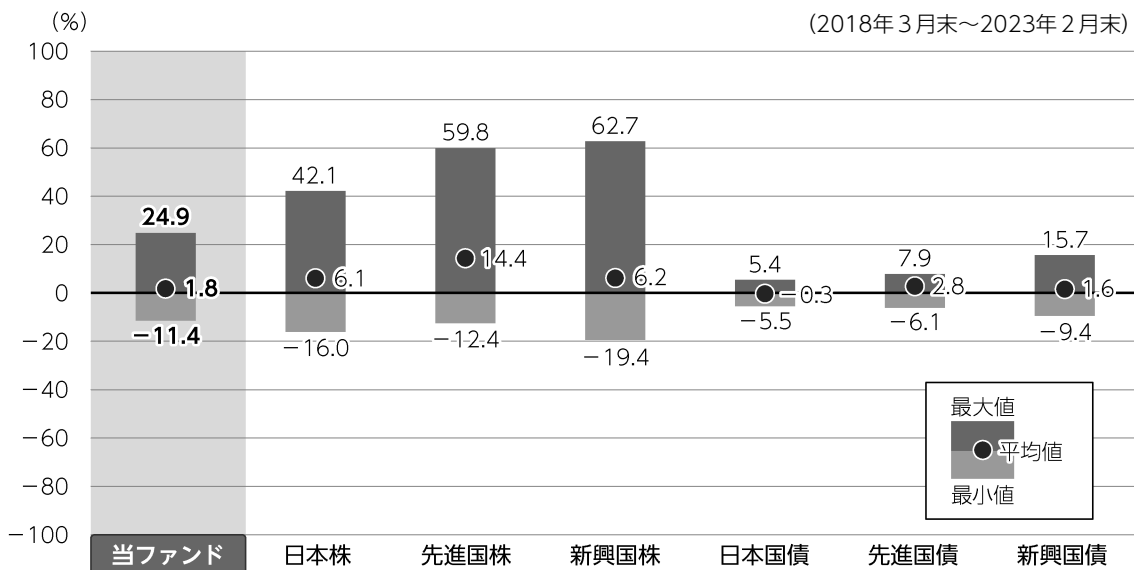
- ・該当事項はありません。

*本書が、受益者のみなさまのお手元に届くのは作成対象期間末から2ヵ月以上が経過していることにご留意ください。
なお、最近の運用状況や約款変更の内容等は当社ホームページ (<https://www.am.mufg.jp/>) にて開示を行っている場合があります。

当該投資信託の概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	無期限（2003年9月26日設定）
運用方針	豪ドル建ての国債、政府機関債、州政府債、社債、資産担保証券（ABS）、モーゲージ証券（MBS）、国際機関債等に分散投資を行います。ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックス（円換算ベース）をベンチマークとします。ポートフォリオの平均格付は原則としてAA-格相当以上を維持することとし、投資する公社債は原則として取得時においてBBB-格相当以上の格付を取得しているものに限り、ポートフォリオの平均デュレーションは原則としてベンチマーク±1年以内の範囲で調整します。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。運用指図に関する権限は、UBSアセット・マネジメント（オーストラリア）リミテッドに委託します。
主要投資対象	豪ドル建ての公社債を主要投資対象とします。
運用方法	豪ドル建ての公社債を主要投資対象とし、高格付けの公社債に分散投資することにより、安定した収益および公社債の利子収益の獲得をめざします。
分配方針	経費等控除後の利子等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、経費等を控除後の利子等収益等を中心に、基準価額水準、市況動向等を勘案して、委託会社が決めます。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。

ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



●上記は、2018年3月から2023年2月の5年間に於ける1年騰落率の平均・最大・最小を、ファンドおよび他の代表的な資産クラスについて定量的に比較できるように作成したものです。

各資産クラスの指数

日本株	東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)
先進国株	MSCI コクサイ・インデックス (配当込み)
新興国株	MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込み)
日本国債	NOMURA-BPI (国債)
先進国債	FTSE世界国債インデックス (除く日本)
新興国債	JPMorgan Global Diversified

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

●全ての資産クラスがファンドの投資対象とは限りません。

●ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

●騰落率は直近前月末から60ヵ月遡った算出結果であり、ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

当該投資信託のデータ

2023年3月15日現在

▶ 当該投資信託の組入資産の内容

組入上位10銘柄

(組入銘柄数：93銘柄)

	銘柄	種類	国・地域	業種／種別	比率(%)
1	4.5 AUST GOVT 330421	債券	オーストラリア	国債	3.3
2	1 AUST GOVT 301221	債券	オーストラリア	国債	3.0
3	2.75 AUST GOVT 291121	債券	オーストラリア	国債	2.8
4	3 VICTORIA 281020	債券	オーストラリア	特殊債	2.3
5	2.75 AUST GOVT 410521	債券	オーストラリア	国債	2.2
6	3.25 AUST GOVT 290421	債券	オーストラリア	国債	2.2
7	2 VICTORIA 350917	債券	オーストラリア	特殊債	2.0
8	1 NBN CO LTD 251203	債券	オーストラリア	特殊債	1.9
9	FRN STANDARD C 250628	債券	イギリス	社債	1.9
10	0.5 ASIAN DEV 260505	債券	国際機関	特殊債	1.7

※比率は純資産総額に対する割合です。
 ※原則、国・地域については、発行地を表示しています。

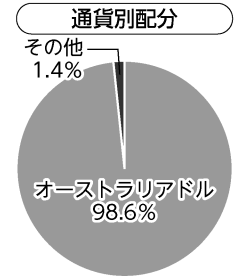
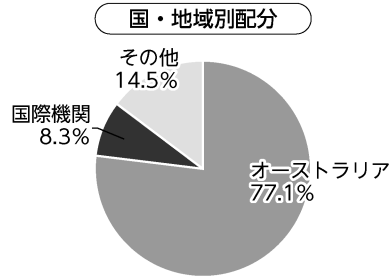
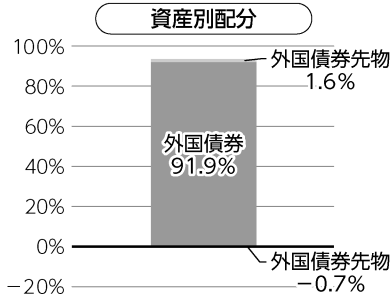
※なお、全銘柄に関する詳細な情報等については、運用
 報告書（全体版）に記載されています。

純資産等

項目	第77期末 2022年12月15日	第78期末 2023年3月15日
純資産総額 (円)	6,829,617,206	6,520,016,862
受益権口数 (口)	8,047,093,641	7,922,548,932
1万口当たり基準価額 (円)	8,487	8,230

※当作成期間中（第77期～第78期）において追加設定元本は76,769,446円
 同解約元本は335,189,057円です。

種別構成等



※比率は純資産総額に対する割合です。構成比率が5%未満の項目は「その他」に分類しています。
 ※原則、国・地域については、発行地を表示しています。
 ※資産別配分の先物は買建と売建を別々に表示しています。

※国・地域別配分は、同一国で買建と売建がある場合、相殺したネットポジションにて表示しています。
 ※国・地域別配分の「その他」には、コール・ローン等のように、複数の金融機関等（国内外）を相手先としてのファンドの余剰資金等と合せて運用しているものを含みます。

指数に関して

▶ ファンドのベンチマークである『ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックス（円換算ベース）』について

ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します。）は、三菱UFJ国際投信株式会社（以下、委託会社）の関係会社ではなく、当ファンドを承認し、是認し、レビューまたは推奨するものではありません。ブルームバーグおよびブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックスは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標またはサービスマークであり、委託会社に対してライセンスされています。ブルームバーグは、ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックスに関連するいかなるデータまたは情報の適時性、正確性または完全性も保証するものではありません。ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックス（円換算ベース）は、ブルームバーグオーストラリア債券（総合）インデックスをもとに、委託会社が計算したものです。

▶ 「ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

●東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

東証株価指数（TOPIX）（配当込み）とは、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークで、浮動株ベースの時価総額加重方式により算出される株価指数です。TOPIXの数値及びTOPIXに係る標準又は商標は、株式会社JPX総研又は株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利・ノウハウ及びTOPIXに係る標準又は商標に関するすべての権利はJPXが有します。

●MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）

MSCI コクサイ・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCI コクサイ・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）

MSCI エマージング・マーケット・インデックス（配当込み）とは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCI エマージング・マーケット・インデックスに対する著作権及びその他知的財産権はすべてMSCI Inc.に帰属します。

●NOMURA-BPI（国債）

NOMURA-BPI（国債）とは、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が発表しているわが国の代表的な国債パフォーマンスインデックスで、NOMURA-BPI（総合）のサブインデックスです。当該指数の知的財産権およびその他一切の権利は同社に帰属します。なお、同社は、当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性、市場性、商品性および適合性を保証するものではなく、当該指数を用いて運用されるファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

●FTSE世界国債インデックス（除く日本）

FTSE世界国債インデックス（除く日本）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

●JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイド

JPモルガンGBI-EMグローバル・ダイバーシファイドとは、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシー

が算出し公表している指数で、現地通貨建てのエマージング債市場の代表的なインデックスです。現地通貨建てのエマージング債のうち、投資規制の有無や、発行規模等を考慮して選ばれた銘柄により構成されています。当指数の著作権は J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。